

## 次号予告

### 特集 GIS (地理情報システム) の活用事例

空間データ構築と標準化 .....	村上 浩 (国土地理院)
道路管理システム .....	斎藤 常務 (道路管理センター)
ビジネスGIS .....	桜井 博行 (国際航業)
モバイルGIS .....	小坪 宏則 (東ガスマッピングセンター)
インターネットGIS .....	江河 博巳 (ゼンリン)

### 編集後記

●どうしても元気がでないのが日本経済。相次ぐ企業倒産によってついに失業率は4%を超え、金融システムへの信頼感の低下から円安・株安の基調が続いています。この問題をどう立て直すのか、大型減税や規制緩和など多くのエコノミストの頭を悩ませています。

●今月号の特集は社会資本をいかにして充実させるのか、そのしかけ部分にORを適用しようというテーマでした。日本の競争力が弱くなったといわれていますが、昨年末で二千二百億ドル(29兆円)の外貨準備と百二十五兆円の対外純資産をもつ世界一の大金持ちの国なのです。「政府」、「建設会社」、「資本家」の利害とリスク分散をうまく図るようなしかけをうまくつくりたいとすれば経済の活力が生まれるに違いありません。経済の構造改革の具体的な姿だと思いました。おりしも先月、経済企画庁から発表された経済白書

(平成10年)では日本経済の構造改革の必要性を説く内容になっていて、BOTについても言及されています。まさにタイムリーな特集ではなかったかと思えます。

●どちらかというとならばORは伝統的に数学的な手法をつかって問題をいかに解くかに興味と研究の中心があり、政策問題に対する取り組みはあまりされてこなかったという印象を個人的にもっています。しかし、経済のみならず大学、企業、職場とあらゆるところで構造改革が必要となっているいまこそ、エコノミストにはない一味違う視点から政策問題に対してどのように向き合うのかを具体的に提示できるORワーカーが求められているといえましょう。

●本誌ではこのような幅広い視点から皆様に役立つ情報提供ができるような紙面づくりに私も努力していきたいと考えています。次号もご期待ください。

(田中宏和)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 大山達雄(政策研究大学院大学) 副委員長 田口 東(中央大学)

委員 葛山康典(早稲田大学)、栗田治(慶応義塾大学)、笹山晋一(東京ガス(株))、猿渡康文(筑波大学)、椎名孝之(勸電力中央研究所)、繁野麻衣子(筑波大学)、清水康司(青山学院大学)、外嶋成留(住友金属工業(株))、田中宏和(神奈川工科大学)、田村明久(電気通信大学)、原 裕淳(株東芝)、宮崎知明(富士通(株))、山下英明(東北大学)、吉野秀明(日本電信電話(株))

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成10年9月号 第43巻 第9号 通巻453号

代表者 水野 幸男

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

編集人 大山 達雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ